

# 『成年に達する』のAA史追補

『アルコールクス・アノニマス 成年に達する』の pp.vii-xiv にはAAの歴史上のトピック一覧が掲載されている。だが英語版には1934年から53年までの各項目について記述のあるページ番号が記載されているが、日本語版にはない。そこで、それを補ったリストを作ってみる。

## AA史の里程標

年	月	出来事	日本語版 ページ
1934	夏	ウィリアム○○○シルクワース博士、ビル○Wを絶望的アルコールと宣告	76
	8月	オックスフォードグループがビルの友人エビ○○Tをしらふにする	86
	11月	エビーがビルを訪ね、自分の物語を話す	85
	12月	タウンズ病院でビルがスピリチュアル（霊的）な経験をする	94
1934 12月 ~1935 5月	ビルがアルコールクたちにかかわる しかし、すべて失敗する	96	
1935	5月	ドクター・ボブとビルがアクロンで出会う	100
	6月10日	ドクター・ボブの最後の飲酒。アルコールクス・アノニマスの創始	107
1937		ニューヨークのAAがオックスフォードグループから分離する	112-113
	11月	ドクター・ボブとビルがアクロンで会い、結果を数える。40ケースが酒をやめていた。確実な成功の最初の認識	115
1938	2月	ジョン○○○ロックフェラー二世と接触。彼は5,000ドルを寄付するが、それ以上は断る。AAを職業化から救う	224-226
	5月	アルコールク財団設立○AAの財産の受託者	230-233
	5月	アルコールクス・アノニマスの本の執筆開始	242
	12月	12のステップが書かれる	245
		メンバーが100人に達する	273
1939	4月	書籍『アルコールクス・アノニマス』出版	263
		フォスディック博士による書評	279, 486
	夏	中西部のAAがオックスフォードグループから離脱○AAは全面的に独立	114
	8月	ドクター・ボブとシスター・イグナシアがアクロンの聖トーマス病院で仕事を始める。ふたりは以後十年間に5,000ケースを治療	10
	9月	クリーブランドでの急拡大が、AAの巨大な成長の可能性を証明	29
	12月	ニューヨーク・ロックランド州立病院で、最初の精神病院でのAAグループ	18

年	月	出来事	日本語版 ページ
1940		宗教界のリーダーたちがAAに賛同。ダウリング神父とフォスティック博士が多くの人々の先駆けとなる	56
	2月	最初のAAワールドサービスオフィスがニューヨーク・ビージー通りに	284
	2月	最初のAAクラブハウスがニューヨーク西24番通りに	274
	2月	ロックフェラー氏の晩さん会	276-278
1941	3月	『サタデー・イブニング・ポスト』紙の記事が全国的な大きな拡大と認知をもたらす。メンバーの数は1941年に2,000人から年末には8,000人に飛躍	289-290
1942		最初の刑務所グループがカリフォルニア州サンクエンティンに	135-136
1944	6月	『AAグレープバイン』発刊	304 <sup>1)</sup>
1945		シルクワース博士とテディ[Rがニューヨークニッカーボッカー病院で仕事を始める。ふたりは以後10年間に10,000人の患者を治療	310
1946		AAの12の伝統が初めて定式化され出版される	350
1949		アメリカ精神医学会がAAを認知	367
1950	6月	第1回国際コンベンション、クリーブランドで開催。12の伝統が動議によって採択される	320
	11月	ドクター・ボブ死去	13, 322
1951	4月	第1回評議会開催AAの理事会とフェローシップ全体とを結ぶものとして、実験的な5年間を開始	326
	10月	サンフランシスコで、アメリカ保健学会 <sup>2)</sup> からラスカー賞がAAに授与される	5, 454
1953	6月	『12のステップと12の伝統』出版	328
1954	10月	アルコール財団がAA常任理事会となる。初期の多目的財団の考え方は放棄される	
1955	7月	セントルイスで20周年コンベンション 『アルコールクス・アノニマス』第2版刊行	
1955	7月3日	回復、一体性、サービスの三つの遺産が、草創期のメンバーから運動自体に引き継がれる	
1956		広報委員会設立。ビル[Wによって指揮されてきた広報活動の責任を引き受ける	
1957		初めての海外でのAA常任理事会が、イギリスとアイルランドで設立される 『AA成年に達する』10月に出版 AAメンバーの数が70の国と合衆国属領の7,000のグループで20万人を超える	
1958		長編テレビ作品『酒とバラの日々』、一九六三年に映画化。ともにAAが協力	
1959		AA出版社がAAワールドサービス社となる	
1960		二十五周年コンベンションが、7月に、カリフォルニア州ロングビーチで開催。 ジョセフ・ケッセル著『アルコールとともに』(Avec Les Alcooliques)が、フランスとドイツでのAAの発展を活気づける	
1961		ビル、カール・ユング博士と手紙を交換。1930年のユング博士のあるアルコールへの援助が、後日AA形成の第一投階と見られるようになる	
1962		ビル[Wの著作『ワールドサービスのための12の概念』出版	
1963		常任理事会に初めて地方選出常任理事が入る。この方式は、それまで一州だけから選出されていた地域担当常任理事にとって代わった。新方式に伴い、合衆国は六つの地方に分割された	

年	月	出来事	日本語版 ページ
1963-1967		この時期の特徴は海外での急速な成長である。それは、増大する世界的サービス活動によって加速された。より多くのアドバイスの手紙、文書センターの新規設立、おびただしい数の新しい効果的な翻訳AAの伝統の教育等である。	
1965		30周年コンベンション、カナダ・トロント、7月。参加者一万人以上。この集まりの基調であった宣言は、のちに広く使われるようになった.....「私の責任。誰かが、どこかで助けを求めたら、そこにAAの（愛の）手があるようにしたい。それは私の責任だ」 贈り物用のポケット版『12のステップと12の伝統』がトロントで発行される ビルとロイスが草創期のAAの物語を語ったカラー記録フィルムが、グループ専用で作られる	
1966		常任理事会の三分の二の多数をアルコールクが占めるように、常任理事会の比率を変更AAのフェロシップがAAのすべてのことについて将来の運営の最高責任を引き受けることとなった、歴史的出来事であった。この変更に伴って、地方選出常任理事は8名に増員され、6名は合衆国から、2名はカナダからとなった	
1967		ビルWの文章からの抜粋を集めたAAの生き方』（のちに『ビルはこう思う』と改題）出版	
1955-1967		この期間に、AAグループの数は5,927から22,297に増加し、海外のグループはAA人口の約20%を占めるようになる	
1969		第1回のワールドサービス・ミーティングがニューヨークで10月9日～11日に開かれ、14か国の代表が参加（1972年以降、隔年に開催）	
1970		35周年国際コンベンションがフロリダ州マイアミビーチで開催される。参加者約11,000人。ビルがみなの前に姿を見せたのは、これが最後。基調スピーチは一体性の宣言	
1971		ビル2月24日、フロリダ州マイアミビーチで死去。彼の名前と写真、そして物語が初めて一般報道を通して世界に伝えられる 世界のAAグループは2月14日に追悼式を催す	
1973		小冊子『信じるようになった』出版。メンバー個人のスピリチュアル（霊的）な考え方を広範囲に紹介	
	4月	書籍『アルコールクス・アノニマス』の頒布が100万部の大台に乗る	
1975		40周年国際コンベンション、コロラド州デンバーで開催。19,000人以上が参加し、テーマ「私といっしょに始めましょう」をロイスと唱和	
1975		小冊子『どうやって飲まないでいるか』出版AAメンバーが飲まないために使ってきた実際的な方法を、詳細に述べたもの	
1976		全世界でメンバーは100万人を超え、グループは約28,000に達したと推定される 『アルコールクス・アノニマス』第3版刊行	
1978		『グレープバイン』の発行部数が10万部を超す 『アルコールクス・アノニマス』の頒布が200万部の目標を突破	
1980		45周年AA国際コンベンション、ニューオーリンズで。テーマ「生きる喜び」を祝うために集まった参加登録者は22,500人に達する 書籍『ドクター・ボブと素敵な仲間たち』がこのコンベンションで紹介される。ドクター・ボブの伝記と中西部でのAAの歴史を併せたもの	
1981	8月	『アルコールクス・アノニマス』の頒布、300万部に達する	
1988		ロイス・バーンハム・ウィルソン、10月5日死去	

1)

英語版ではp.212とあるがp.201の誤りでは。

2)

American Public Health Association — アメリカ公衆衛生学会

From:

<https://www.ieji.org/wiki/> - 心の家路

Permanent link:

[https://www.ieji.org/wiki/books/study/aaca\\_history\\_list](https://www.ieji.org/wiki/books/study/aaca_history_list)

Last update: **2020/10/08**

